



建設
コンサルタント

にほんぶつりたんこうかぶしきがいしゃ
日本物理探鑛株式会社

本社/大田区中馬込2-2-12
TEL.03-3774-3211 <https://www.n-buturi.co.jp/>
設立/1942(昭和17)年12月 従業員数/140名(2025年3月末現在)



もっと、くわしく
見てみよう!
職場見学可能です

建設コンサルタントとは どんな仕事なの?

**交通インフラなどの建設プロジェクトで
必要な調査を行うスペシャリストです。**

建設コンサルタントとは、鉄道や道路、橋などのインフラの建設プロジェクトを企画・調査・設計し、完成させるまでの過程で専門的な助言や提案を行うスペシャリストです。国や地方自治体からの要請でインフラの老朽化に対する整備や維持管理に関わるプロジェクトも担い、安心・安全な社会基盤の構築に貢献しています。



レーダを使って地面の中を覗き見る調査の様子

調査や探査には どんなものがあるの?

**地盤調査や危険物探査、埋設物調査
など、地面の中の困りごとを解消します。**

鉄道や道路、トンネルやダムなどの工事を行うときには、工事を安全に行う責任があります。そのため、目に見えない地面の中を事前に把握しなければいけません。そこで、私たちの会社では、工事を計画している場所で「地下の様子を広範囲に、速やかに調べたい」などのお客さまからの要望に応じて、現在にいたるまで、建設工事、防災・環境、資源、学術にかかわる調査・探査を行ってきました。



地質調査

丈夫で安全な道路や橋、鉄道、ダムや空港などを作るため、災害に強い地盤がどこにあるかを調べる調査です。地面の中に細い穴をあけて地盤の特性を確認します。



危険物探査

地中に埋まった爆弾や砲弾などを地面の上から探す調査です。安全な土木工事のために必要な探査です。



埋設物調査

地面の中には昔の土木工事で残されたものがたくさんあります。これらのものが新しい工事で邪魔にならないかを、磁気反応などによって確認します。

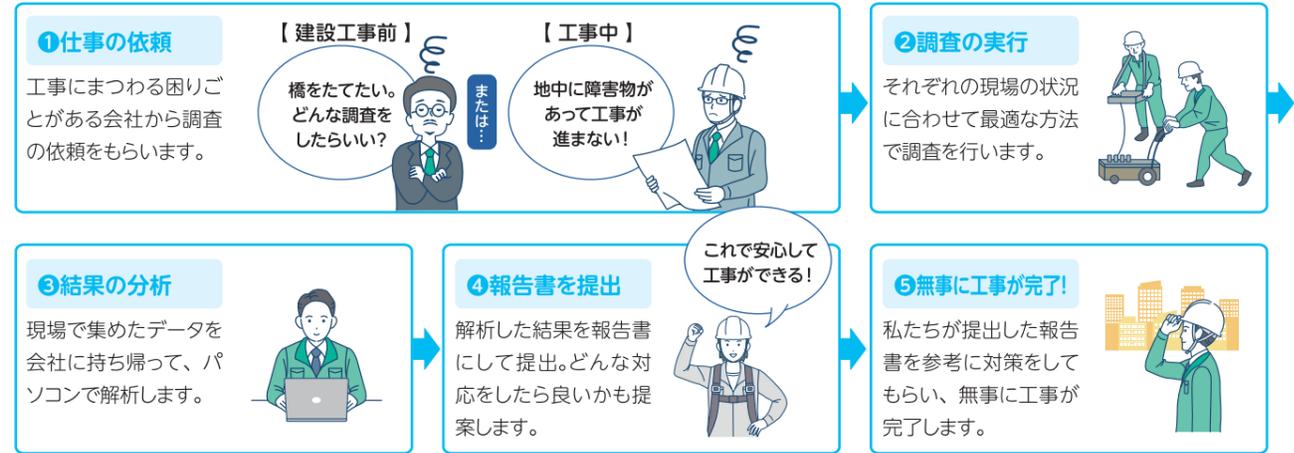


環境防災調査

土壌や地下水の汚染は工事など大規模掘削によって広がり、周辺住民の健康を害するリスクがあります。工事を行う前に土壌汚染調査を行い、適切な汚染リスク管理を提案します。

調査の仕事の流れを 教えて!

依頼を受けて、現地で調査を行い、 調査結果を分析して報告書を提出します。



探査機器にはどんな ものがあるの?

市販の探査機器もありますが、調査 に合わせて機器の開発もしています。

さまざまな調査や探査に対応するため、私たちは、弾性波探査装置や打音探査器、金属探知器、磁気探査機などの多種多様な「探査機器」を持っています。しかし、現場によっては市販されている探査機器では十分な調査ができない場合があり、「こんな機器があれば便利なのに……」と感ずることがあります。そこで私たちは、自社で探査機器を製作できるメリットをいかして、それぞれの現場に適した探査機器を開発し、「現場の“あったらいいな”」を形にしてきました。また、地中や海中の構造を効率良く把握する「物理探査技術」の開発も行ってきました。



働く人の声を聞いてみよう!

Q&A

Q.どんな仕事をしていますか?

物理探査機を使って、戦争中に使用された不発弾などが地中に埋まっているかを確認する仕事をしています。お客さまの困りごとを私たちの調査で解決できたときは、誰かの役に立てていると思え、やりがいを感じることができます。



関東支店 営業部
おおしま ゆうた
大島 雄太 さん

Q.どんな仕事をしていますか?

調査の仕事は、トンネルやビルなどの完成時に立ち会うことはありません。しかし、自分たちが調査をした工事が完了し、完成した姿やニュースに取り上げられている様子を見ると、陰ながら社会の役に立てたことを実感できます。



関東支店 技術第二部
おむら かずき
大村 一希 さん

Q.どんな仕事をしていますか?

ビルなどの建物や道路、川、トンネルなどの地盤調査をしています。地盤の固さ、水の通りやすさなど地盤にはさまざまな特徴があります。これらを数値化することで工事をサポートし、みなさんが安心して暮らす町づくりに貢献しています。



関西支店 技術部
はまだ こうじ
濱田 康太 さん